

監査結果（包括外部監査）に係る措置通知書

建設局	(27年度)
監査結果 (指摘事項)	改善措置
<p>【指摘 16】 (アンケートの実施と事業評価について) 現在、平成 22 年頃を最後に、動物公園独自のアンケート調査は行っていないとのことであるが、利用者の声を的確に収集し、分析して、行動して行かなければ、利用者が動物公園から離れていく要因になりかねない。動物公園自ら、アンケートを実施するなど、定期的に自己評価し、指定管理者制度を採用している他の施設同様の評価をすべきである。他の指定管理者制度を採用している動物園との比較からも、サービスの提供において遅れをとる原因になると考える。</p> <p>前述の札幌市の円山動物園の例にもあるように、一般会計で運営している動物園についても、かなり内容の濃い事業評価を実施しているのが現状であることを考える場合、しっかりとした自己評価と管理部署、場合によっては第三者評価を踏まえて運営すべきである。</p> <p>動物園の運営予算は、市の予算水準からすれば低い割合であるが、市民の教育と福祉や、種の保存といった質的な役割は非常に重要であることからもしっかりとした事業評価が必要である。</p>	<p>平成 29 年度からゴールデンウィークや夜間開園等利用者が多い時期に、利用者の声を把握するため定期的にアンケートを実施することとした。</p> <p>また、他の政令指定都市の動物園との比較分析を行い、現状の確認と課題を洗い出し、自己評価を行った。</p> <p>これらの結果を基に事業評価を行い、施設の老朽化対策、経営的な視点を含めた今後の動物園の方向性を定め、平成 29 年 12 月に八木山動物公園運営方針を見直し、改定したところである。</p>